

本日は、総務常任委員会が開かれ、先日認定した決算に関する所管部門の付帯意見を決定しました。2024.09.17



相模原市議会を訪問した時の写真(阿部善博市議の撮影です)

本日は、午前 10 時から総務常任委員会が開かれ、先日認定した決算に関する所管部門の付帯意見を決定しました。2024.09.17 付帯意見の提出に関しては、委員会で自分が質疑した事項の中で、行政に対して改善点を指摘するもので、それを協議して、委員会で決定しました。

今回は、委員間の疎通がスムーズに進み、一部訂正、あるいは複数の意見を集約する方法で、意見が取りまとめられ、集約したものを副委員長が個々に読み上げ、委員長が可否を図っていました。結果的に、全員一致して付帯意見が可決となりました。

決算審査の総務委員会は決算認定に際し、行政への付帯意見を作成し、委員長が本会議で報告する運びです 2024.09.18



写真は9月9日のものを使用

昨日は、総務委員会における総務常任会議は、決算審査は決算認定に際し、行政への付帯意見を作成しました。最終日に委員長が本会議で報告する運びです 2024.09.18



9月9日の写真

大半の委員が付帯意見を提案しましたが、私は比較的多数の意見を付けた方でした。もちろん、質疑はしたが、意見を付すに相当ではないものもあり、それらは割愛しました。

提出意見はほとんど他の委員の指摘と異なるもので、他の委員との重複意見が1件のみで、統合した意見となりました。



他は、他の委員と重なるものが無く、元文のままで最終提出しました。結果は、それ以前に個々に意見調整があり、文言調整があり、最終的には、全意見が全可で可決となり、委員長報告に盛り込まれることになりました。

以下、吉田が提出していた意見が下記の通りです。

#### 一般会計

#### 歳出

#### 総務費（多数の委員が複数の意見を付ける）

文書送付の利用基準をさらに厳格化し、電子メールなどの方法を拡充し、経費の削減に取り組まれない。

正規職員の採用に関して、引き続き氷河期世代の人員採用を継続するとともに、その人数も拡充するよう取り組まれない。

住民からの情報要求に関して、可能な限り、情報提供の方法によるサービスを拡充するよう図られたい。

広告収入の増加に努め、ネット時代に即応したより効果的な広報手段の拡大と、広報紙配布方法の低コスト化の選択を図られたい。（他の委員の冒頭部分と統合し、1文となる）

町田市の数値順位比較に関して、多摩地域26市で比較すべきものと、同規模都市と比較すべきものを整理し、合理的に分かりやすく説明されたい。

会計課の資金の運用に関して、金利の動向を注視しながら、より安定した収益が見込める債券の保持を図られたい。

中核市候補市の施策に関して、候補市の町田市が情報を得るだけでなく、既存の中核市と互いに寄与する視点を持って、対応されるように努められたい。

世代別の一人当たりの納税額の特徴に即して、納税額と割合の向上の課題把握に努め、市民に分かりやすく公表されたい。

監査事務局の加除図書に関して、現状に即してデジタルデータ化の検討を図られたい。

**労働費**（吉田つとむは、無し）

**農林費**（全体で1件。吉田のみ）

市街化調整区域内の遊休農地に関して、農業の発展拡大に寄与する観点から必要な整備が拡充するように図られたい。

**商工費**（全体で5件の内、吉田は3件の意見をつる）

中心市街地歩行者通行量の目標設定に関しては、一律に長期目標を毎年固定して設定しているが、現実に即して中期的な目標数値を具体化して設定し、現状の政策課題に反映されるように改善を図られたい。

町田ターミナルプラザにおけるアーティストの活動に関して、夜の時間が十分に利用されておらず、若者に人気を博して活用されるよう広報改善と使いやすい環境改善を図られたい。

原町田一丁目駐車場と町田ターミナルは中心市街地における貴重な収益をもたらす行政財産であり、できるだけ長寿命化を図り、使用料収入の着実な維持と利用者の利便性確保を図られたい。

**消防費**（消防団や自主防衛隊分野で多数の意見がでるが、吉田は1件のみ意見。）

町田市は消防団員の必要人数確保を優先している現状から、募集要領や 広報案内等に年齢や世代を求めない趣旨のPR方法に改善を図られたい。

(付記：以上でした)